

経営比較分析表（令和6年度決算）

宮城県 日南市

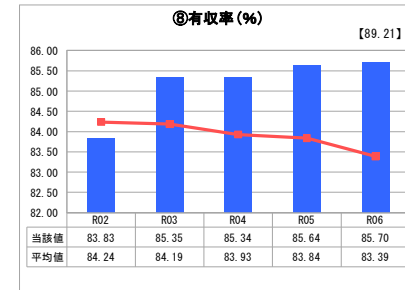
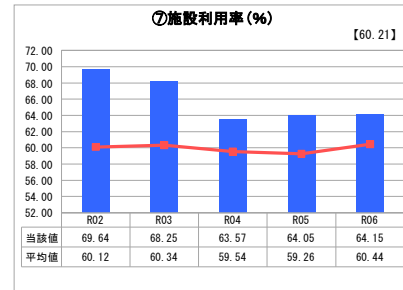
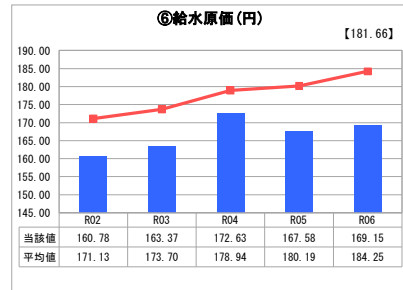
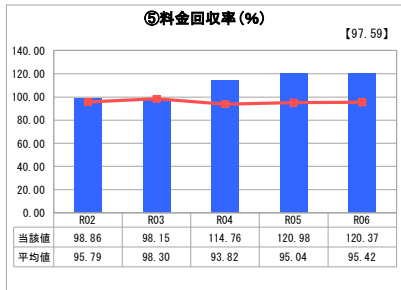
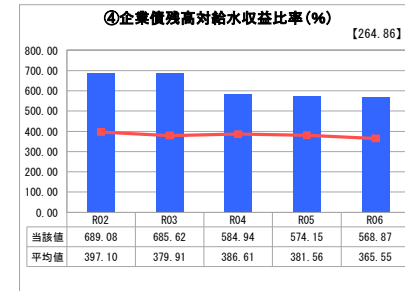
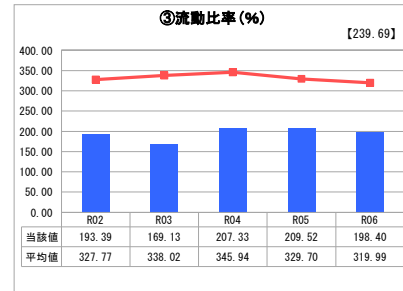
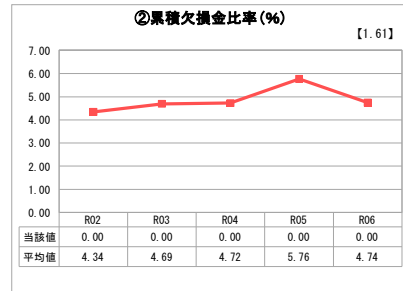
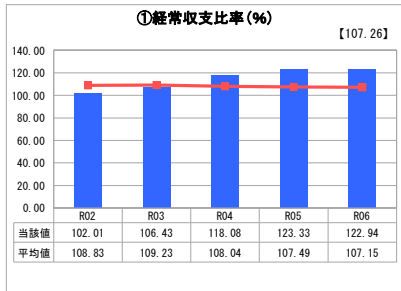
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)	
-	48.85	96.47	3,531	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
48,198	535.49	90.01
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
45,964	74.34	618.29

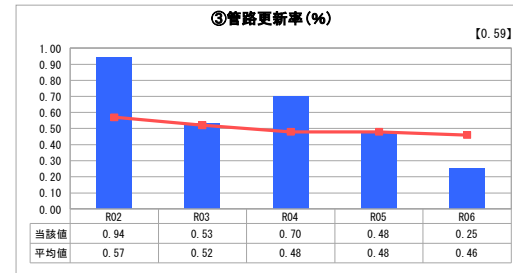
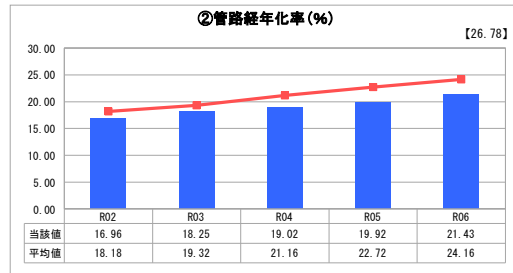
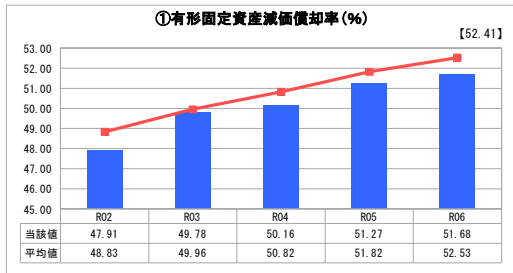
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、約123%です。昨年度に引き続き、健全経営を保持しています。令和4年5月より料金改定を行ったことが主な理由です。
 ②累積欠損金はありません。
 ③流動比率は約198%です。100%を超えているものの、類似団体・全国平均より比率が少ないことから、さらなる資金確保や経費削減などの経営改善が必要です。
 ④企業債残高対給水収益比率は、約569%で、類似団体・全国平均よりも非常に高くなっています。経営戦略の計画に基づき、元金償還額を超える借入れは行わないことで、昨年よりも減少しましたが、今後も水道施設の一元化、耐震化、老朽管更新事業等の実施により起債借入を行うため、高い水準で推移する見込みです。
 ⑤料金回収率は、約120%です。昨年度に比べ若干、低下いたしました。令和4年5月からの料金改定が主な理由です。引き続き、経費の削減はもとより収益の確保策についても経営改善を行います。
 ⑥給水原価は、約169円です。エネルギー価格の上昇や人件費の高騰による影響があり、昨年度より増加いたしました。
 ⑦施設利用率は約64%です。昨年度とほぼ変わっておりませんが、人口減少により、利用率が減少する可能性もあり、今後は、施設の統合などを予定しているため、施設の有効活用を推進いたします。
 ⑧有収率は約86%です。漏水調査などを引き続き実施

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は約52%です。年々増加しており、老朽化が進んでいます。管路施設の更新を行い、改善に努めます。
 ②管路経年率は、約21%となっています。年々老朽化が進んでいます。更新事業を継続的に進め、改善に努めます。
 ③管路更新率は、約0.3%です。水道施設の一元化事業を最優先に実施していることから、更新事業については、当面は横ばいで推移する見込みです。

全体総括

平成29年度に離島である大島簡易水道を除くすべての簡易水道を上水道に統合したことにより、統合前に比べると経営状況が悪化しています。さらに、令和8年度には、大島簡易水道との統合も予定しています。
 また、水道施設の老朽化により、水道施設の一元化事業をはじめ、耐震化、老朽管更新事業についても、継続して建設改良事業に投資する必要があります。
 一方で、人口減少に伴う給水収益の減少が見込まれ、経営状況はさらに厳しくなる見込みです。このような中、令和7年度末に、「日南市水道事業経営戦略」の改定【計画期間R8-R17】を予定しており、今後さらに経営健全化の取り組みを推進いたします。